

第二章 上司は何を思う  
15

- 1—出くわしてしまった時、それはチャンスです 16
- 2—日本人なんだから、年賀状は出す 20
- 3—上司には飲みに誘う理由がある 24
- 4—上司を義理の父親だと思え 28
- 5—抱えている弱みを共有すれば強みに変わる 32
- 6—他部署に足を踏み入れる時は上司同伴で 36
- 7—いつ何時、どこにいても電話には出る 39
- 8—決められないのではなく、「決めない」のだ 43
- 9—上司を隠れ蓑にして、美味しい思いは存分に 47
- 10—上司に知らせるべき事案のプライオリティを考えてみる 51

11—手柄は上司で何が悪い

12—「今週いっぱいの仕事」の期限はいつか

13—上の上を見てはいけない

14—ポーンズ曰の礼儀作法

15—会議が終わったら、まずはじっくり反省会

16—上司には絶対に勝てないし、勝つてはいけない

17—あなたのミスは待ち望まれている

## 第二章 部下は何を願う 83

18—得意な仕事こそ手放して任せる

19—「ここだけの話」は、誰にとっても蜜の味

20—あなたのヒロイックな武勇伝は笑われている

21—目指せ、「時代おくれ」な男

22—「あいつ、だめだよな」。言ってるあなたがいちばんダメだ

23—権利は部下のためにも行使する

103 100 95 92 88 84

77 74 70 67 63 59 55

24—やっぱり人は褒められて伸びる

25—アナログだからと開き直ってる場合ではない

26—プライベートは惜しむことなくさらけ出す

27—無い袖も振る

28—馴染みの店で素の顔を垣間見せる

29—報告されないのは、あなたが悪い

30—部下への謝罪は、絆を強くする

31—聞きたいのは会社の意見でも部長の意向でもない、

あなたの言葉

32—携帯電話を使って、心を込めた会話のやりとり

### 第三章 組織人としての誇りと

## 果たすべき義務

33—自社株を保有することの意味

34—同じ金の飯を食ってこそ連帯感は生まれる

107

111

115

118

122

126

129

132

135

141

142

146

- 35 —「出世なんてしたくない」は背德的発言 150
- 36 —「まあ、いいか」と思わずに少額経費を精算する 154
- 37 —人が死んでいるのに横着してる場合じゃない 158
- 38 —社内恋愛は短期勝負 161
- 39 —取引先の方が内部事情に通じている 164
- 40 —弱みにはつけ込んで、後々に備える 168
- 41 —未婚でいる高齢の女性社員は会社の上層部とつながっている 172
- 42 —総務は女房。バックオフィスに太いパイプを 176
- 43 —欠勤1ヶ月で昇進が1年遅れる。  
不健康な社員に会社は冷たい 179
- 44 —SNSでむやみやたらにつながるな 182
- 45 —人はやっぱり見た目? 186
- 46 —ダメな社員ほどかわいい 190
- 47 —昇進の喜びは分かち合う 193